

WebFOCUS 管理者コース ～研修受講後のスキルアップサポート～

対応バージョン:WebFOCUS 8.0.01

本資料は、アシスト WebFOCUS 研修をご受講いただいたお客様からのご質問や、研修ではご案内できなかった情報などを FAQ にまとめたものです。研修受講後のスキルアップの一助として、是非お役立て下さい。

※ご利用上の注意事項は最後のページにまとめられております。ご確認のうえ、ご利用下さい。

第1章 概要	
1	Q. WebFOCUS クライアントのサービスは、起動する必要は無いのでしょうか。
	A. WebFOCUS クライアントのサービスはありません。 WebFOCUS クライアントは、アプリケーションサーバが動作させているため、アプリケーションサーバのサービスを起動しておけば、WebFOCUS クライアントは自動的に動作します。
2	Q. Web コンソールやアドホック画面を表示する際、認証画面を経由させることはできますか。
	A. 詳細は5章に掲載しておりますが、セキュリティモードやベーシック認証の機能で保護できます。
3	Q. WebFOCUS 管理コンソールのログインユーザ、パスワードの追加や変更はできますか。
	A. ログインユーザの追加は「http://サーバ名/ibi_apps/」から BI Portal にログインし、メニューの [管理] → [セキュリティセンター] から追加できます。 パスワード設定については、メニューの [Administrator] (ログインユーザ名の表示箇所) → [パスワードの変更] から変更できます。詳細は、WebFOCUS セキュリティガイド (wf80sec.pdf) をご参照下さい。

第2章 開発と運用の効率化	
1	Q. P2-2 の例では2台の Oracle に接続していますが、データアダプタのライセンスも2つ必要ですか。
	A. データアダプタは接続するデータベースの種類ごとに発生しますので、Oracle のデータアダプタがあれば、複数台の Oracle に接続可能です。
2	Q. -INCLUDE とグローバルプロファイルは、どのように使い分けますか。
	A. 全プロシジャで適用したい共通の設定は、グローバルプロファイルに記述します。 JOINのように、いくつかのプロシジャで使用するコマンドや、SQLトレースのコマンドなど、必要に応じて利用したい設定は-INCLUDEを使用します。
3	Q. USAGE やタイトルを変更した場合、レポートペインタで常に表示させておく方法がありますか。
	A. オブジェクトインスペクタの「詳細ウィンドウ」の表示を有効にすれば、項目の選択時にフォーマットを表示できます。設定手順は、オブジェクトインスペクタを右クリックし、[詳細ウィンドウを表示しない] のチェックを外して下さい。もし見難い場合は、オブジェクトインスペクタの下部を上方にドラッグすれば、詳細ウィンドウが表示されます。
4	Q. グローバルプロファイルを Web コンソールで編集するメリットはなんですか。
	A. 最大のメリットは、直接サーバマシンを操作せずに、ブラウザからグローバルプロファイルを編集できる点です。開発者・管理者が直接サーバマシンを操作できないケースでも、Web コンソールからであれば、グローバルプロファイルを編集できます。

第2章 開発と運用の効率化	
6	Q. 例題3で、本番用のパスを設定しないとどうなりますか。
	A. 実行ボタンのプロパティ設定時に、本番用プロジェクトのプロシジャが参照できません。
7	Q. 例題3の最後にパスを削除する手順がありますが、これを忘れるとどうなりますか。
	A. 開発用プロジェクトに本番用プロジェクトと同名のプロシジャがあった場合、常に開発用プロジェクト中のプロシジャが実行されます。
8	Q. -INCLUDE は別ディレクトリのファイルを参照できますか。
	A. プロジェクトのパスを設定すれば、別ディレクトリのファイルを参照できます。
9	Q. プロシジャ実行時のファイルの検索順序を教えてください。
	A. 以下の順番でファイルを検索します。 1. HOLDファイルのマスターファイルの出力先ディレクトリ 2. 自プロジェクト 3. サーバ側のアプリケーションパスを上から指定順に検索 4. baseapp 5. C:\%ibi%\srv77\wfs\catalog 6. FILEDEFコマンドで指定されたディレクトリ ※6番目のFILEDEFコマンドは、プロシジャのみ対象です。シノニムは検索しません。
10	Q. -HTMLFORM で呼び出す HTML ファイルは、どこに配置すれば良いでしょうか。また、アプリケーションマップ上に配置したファイルも参照可能でしょうか。
	A. WebFOCUS が参照可能なディレクトリに配置すれば-HTMLFORM で呼び出せます。同一ディレクトリではないファイルを指定する場合は、パスの指定を追加します。また、アプリケーションマップ上のファイルも参照可能です。

第3章 システム構成と運用管理のポイント	
1	Q. 大規模な環境において、負荷分散を行うことはできますか。
	A. HTTP リクエストについては、ロードバランサなどのツールを導入すれば、複数台の Web サーバで負荷分散が行えます。レポーティングサーバの負荷分散を行いたい場合は、WebFOCUS のオプション製品であるワークロードオプションを導入する必要があります。
2	Q. Developer Studio のライセンスで、サーバに接続して開発することは可能ですか。可能な場合、作業する環境はどのようにして切り替えますか。
	A. サーバに接続して開発を行う場合は、新たにWebFOCUS開発環境の設定を追加します。Developer Studioのメニューバーの [ファイル] → [環境の表示] を選択し、[環境リスト] からサーバの追加や、作業サーバの変更が行えます。
3	Q. Developer Studio のライセンスで、データベースは別マシン上にあっても検索できますか。
	A. データベースのクライアント設定 (ODBC など)、データアダプタの設定を追加すれば、検索できます。
4	Q. 開発環境のライセンスの見分け方を教えてください。
	A. サービス画面に、「WebFOCUS 80 Server for Developer Studio」があれば Developer Studio です。サービスが無ければ Report Developer です。
5	Q. ログファイルの履歴の桁数が2桁ですが、3桁に増やすことは可能ですか。
	A. 100 を超えるログファイルを残すことはできません。ログファイルの履歴は、0～99 までです。

第3章 システム構成と運用管理のポイント	
6	Q. ログファイルが切り替わるタイミングは、再起動、最大行数、最大日数のすべてが有効ですか。日数の設定をすると他の設定が無効になるなど、設定に優先順位はありますか
	A. 設定に優先順位はありません。再起動、最大行数、最大日数のうち、いずれか一つの条件を満たせば、ログファイルが切り替わります。
7	Q. 1日1個のログファイルを作成したいのですが、edaprint_max_daysに「1」と指定すれば良いですか。また、このときファイル名の末尾を日付にできますか。
	A. edaprint_max_daysに「1」と指定して下さい。ただし、1日に1回もレポートが実行されなかったなど、ログファイルに何も情報が出力されなかった日は、ログファイルは更新されません。また、ファイル名の末尾を日付にすることはできません。
8	Q. サーバを停止したら、処理中のリクエストは停止されるのでしょうか。それとも、処理中のリクエストが終了してからサーバが停止されるのでしょうか。
	A. サーバを停止したら、処理中のリクエストは強制停止されます。
9	Q. サーバの停止によって強制的にリクエストが終了した場合は、エラーメッセージが表示されるのでしょうか。また、そのエラーメッセージをカスタマイズできますか。
	A. 以下のエラーメッセージが表示されます。 「Reporting Server 管理者に問い合わせください:EDASERVE」（エラー:32016） また、エラーメッセージはカスタマイズ可能です。カスタマイズの方法は、WebFOCUS管理者コースの4章でご紹介しております。

第4章 運用管理実習	
1	Q. 例題1で「すべてのエージェントを停止」をクリックしたところ、一旦すべて停止した後、追加でリクエストが実行されたようです。1回ではすべて停止できないのでしょうか。
	A. 「すべてのエージェントを停止」は、エージェントを停止する機能であるため、キューに待機したリクエストを停止することは出来ません。
2	Q. 特定のエラー画面だけでなく、プロシージャの実行結果が0件の場合の「HTMLの結果はありませんでした」の画面をカスタマイズできますか。
	A. 可能です。PA-17をご参照下さい。
3	Q. データサービスの意味を教えてください。
	A. データサービスは、エージェントごとにグループ分けしたものです。最大起動プロセス数や、初期起動数、キューの使用設定は、データサービスごとに設定を行います。
4	Q. 監視画面のクエリ時間は、何をあらわしますか。
	A. エージェントが処理を開始した時間です。
5	Q. リクエストの処理が長引いているかどうかを確認する方法はありますか。
	A. ステータスが「使用中」になっているエージェントの「クエリ時間」を確認し、現在時刻との差を確認します。
6	Q. Tscomidがリセットされるタイミングはいつですか。
	A. レポートサーバを再起動したタイミングでリセットされます。
7	Q. Tscomidでエージェントは識別できますが、リクエストを識別することはできますか。
	A. ログファイルに出力される「sesid = n」でリクエストごとに連番で振られるの一意の番号を識別できます。ログファイルについての詳細はWebFOCUS管理者コーステキストのP4-30ページでご紹介しております。

第4章 運用管理実習	
8	<p>Q. コマンドでエージェントを起動できますか。</p> <p>A. 「edastart -preload <i>n</i>」でエージェントを起動できます。 <i>n</i> は起動させるエージェント数です。</p>
9	<p>Q. リソースアナライザを導入するメリットはなんですか。</p> <p>A. 以下のような、edaprint.log では収集できない情報が確認できる点です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定のリクエストの実行頻度 ・ 頻繁に使用される選択条件 ・ 頻繁に使用されるデータの期間 ・ 負荷の高いJOINリクエスト ・ 検索されていないデータソースや項目 <p>さらに、取得したデータをテーブルとして保持し、マスターファイルも出力されるため、WebFOCUSで検索してレポート、グラフの形で閲覧することもできます。</p>

第5章 セキュリティ	
1	<p>Q. セキュリティがOFFの場合でも、Web コンソールにセキュリティを設定できますか。</p> <p>A. P5-21 でご紹介している、「RESTRICT_TO_IP」という設定を使用すれば、特定のIPアドレスからのみWeb コンソールに接続できるように設定することもできます。</p>
3	<p>Q. edaenv.cfg は初期設定ではファイルが存在しませんが、どのように作成すれば良いでしょうか。</p> <p>A. Web コンソール上で設定を行うことで、自動的にファイルが作成されます。</p>
4	<p>Q. セキュリティモード使用時のログイン画面はカスタマイズできますか。</p> <p>A. セキュリティモードのログイン画面も、エラー画面と同様に以下のファイルで管理されています。 C:\ibi\WebFOCUS80\client\wfc\etc\ENtemplate.xml</p> <p>「32074」がログイン画面で使用されている内容です。レイアウトや文字列を変更したい場合は、文字列検索で「32074」を検索し、ソースを編集して下さい。 なお、編集を加える際は、必ず事前にバックアップを取得して下さい。</p>
5	<p>Q. グローバル変数を使用するプロシジャでブラウザを複数起動した場合、ブラウザごとに変数値を保持しますか。</p> <p>A. グローバル変数は、起動したブラウザごとに保持します。</p>
6	<p>Q. グローバル変数の説明に、「同一ウィンドウ内で値が保持されます」とあります。プロシジャを新規ウィンドウで実行した場合、新しいウィンドウが起動しますが、このときグローバル変数は保持されますか。</p> <p>A. ドリルダウンなど、プロシジャから新規ウィンドウを起動した場合は、別ウィンドウにも変数は保持されます。</p>
7	<p>Q. Web コンソールのRESTRICT_TO_IPは、セキュリティモードPTHを使用した場合と違いはありますか。</p> <p>A. どちらでもWeb コンソールへのアクセスを制御できますが、機能として別物です。RESTRICT_TO_IPは認証情報としてIPアドレスやホスト名を使用します。 セキュリティモードPTHは、WebFOCUSのセキュリティモードの一部なので、認証情報としてユーザアカウントを使用します。</p>
8	<p>Q. RESTRICT_TO_IPを設定し、接続不可のマシンから接続した場合はどうなりますか。</p> <p>A. ブラウザのエラー（HTTP 403 エラー）を表示します。</p>

第5章 セキュリティ		
9	Q.	SQL に慣れた人は、SQL パススルーを利用した方がいいですか。
	A.	SQL パススルーを使用しても、レポート作成は WebFOCUS で行うため、SQL に慣れているから SQL パススルーを利用した方がいいというわけではありません。 また、SQL パススルーを使用してのレポートは、必ず HOLD ファイルの二次検索を行うため、不要なディスク I/O が発生する頻度が多くなります。
10	Q.	SQL パススルーを含むプロシジャが無い場合、SQL パススルーを無効化する必要はありますか。
	A.	URL からコマンドを直接実行したり、アドホックリクエストからの実行も抑制したい場合は、無効化する必要があります。

※ ご利用上の注意事項※

- ・本書の著作権は株式会社アシストに帰属します。
- ・本書は参考資料であり、掲載されている情報は予告なしに変更されることがあります。
- ・本書で使用している製品の名称は、各社の商標または登録商標です。
- ・本資料の内容に関するご質問はご遠慮ください。
- ・本資料はお客様の責任のもとでご利用ください。これらの使用によりいかなる損害が生じたとしても、株式会社アシストは一切保証致しかねますので、ご了承ください。